



2011年9月5日発行  
 発行人：河野 忠友  
 発行所：〒650-0024 神戸市中央区  
 海岸通8神港ビルヂング509  
 TEL：078-393-0050  
 FAX：078-393-0051  
 E-Mail：[kobekeio@dream.ocn.ne.jp](mailto:kobekeio@dream.ocn.ne.jp)  
 URL：<http://www.kobekeio.org/>  
 編集人：齋藤 洋邦、宮田 沙織

## ～6月例会レポート～

### 「私たちが知っておくべきこと

### （東日本大震災被災地レポート）

鳥巢 慶太（平12工）



6月17日18時30分より、神港ビルヂングにて、副幹事長である康乗克之氏による6月例会が開催されました（25名参加）。これに先立ち、神戸慶應倶楽部から100万円と関西合同三田会から50万円と佐井会長から50万円合

計200万円の目録を、佐井会長および河野幹事長が被災地に行き仙台三田会 藤崎三郎助会長にお渡ししました。これは神戸慶應倶楽部の伝説になることでしょう。

冒頭に、佐井会長の「非常時は人間力に頼るしかない」「とにかく現地活動、議論は後、今やるしかない」とのアツイ言葉を頂き、6月例会はスタートしました。まず講師である康乗氏の紹介から。康乗氏は日本災害医療支援機構（JVMAT）の副理事長を務めていらっしゃいます。JVMATとは、被災地に対し、災害医療の観点から支援活動を行う団体です。今回のスピーチは、東日本大震災を医療の観点から捉えた大変興味深いスピーチです。

#### 【災害医療】

災害医療は、急性期（発災～1週）、亜急性期（2～3週）、慢性期（2～3年）のおおまかに3期に分けて対応が異なります。急性期は救出・救助を根幹とした救急医療、亜急性期は感染症やPTSDなど初期集中医療や急性後遺症に対応し、慢性期はリハビリなど患者・被災者の社会復帰に対応する時期となります。JVMATは「助かる命を救いたい、助けた命を守りたい」のローガンを掲げ、亜急性期を主とし、急性期～慢性期まで災害医療のあらゆるフェーズで医療支援をしています。なお、急性期については、国の災害医療派遣チームであるDMATが主に担当しています。

#### 【東日本大震災の特徴（阪神大震災との比較）】

東日本大震災は、津波による被害が甚大で、瓦礫の山だった阪神大震災とは全く異なり、人、家、街が全て津波に呑み込まれ、被災地の周辺全体が更地のようで康乗氏は呆然としたそうです。以下に今回の東日本大震災の特徴を、阪神大震災と比較してまとめました。

- ・被災地域が青森から茨城までの広範囲に及んだ。（阪神は限定的）
- ・津波による被害の有無により明暗が分かれた。（阪神は津波なし）
- ・多くの家屋や社屋が瞬時に消滅してしまった。（阪神は半壊も多い）
- ・放射能汚染、土壌汚染、塩化汚染等の深刻な環境破壊が発生した。（阪神は環境破壊が小規模）
- ・農林水産業や製造業等の生産者が被災者の大半を占めた。（阪神は消費者が大半）

以上のように、東日本大震災は阪神大震災と全く性質の異なる地震であったことがわかります。例えば、救急医療で行うトリアージ（患者の重傷度に応じて、黒、赤、黄、緑、のシートでマーキング）を例にとると、阪神大震災では緊急性の高い「赤」～「黄」の重傷患者が多かったのに対し、東日本大震災では津波で流されて死亡した人「黒」、または元気な人「緑」の二極的であったそうです。つまり、東日本大震災では、負傷者の割合が非常に少なかったとのこと。このような状態のため、医療支援という立場からはできることが少なく、非常に歯がゆい思いをされたそうです。



#### 【地震にまつわる怖い話】

最後に、康乗氏が大変怖い話をされていました。

18 世紀から 20 世紀の日本における地震の統計を取ると、死者 1000 人以上の大地震が計 24 回、つまり 1 世紀(100 年)につき平均 8 回の頻度で起きているそうです。そんな頻繁に大地震が起きているか?と疑問をお持ちの方もおられると思いますが、実は、我々が経験した 1995 年阪神大震災から 1 つ前の 1948 年福井大地震まで、幸いにもこの 47 年間は死者 1000 人以上の大地震が一度も起こっていませんでした。そのため、我々には大地震が頻繁に起きている印象がないのだと思います。しかし、統計によると、18 世紀に 7 回、19 世紀に 8 回、20 世紀に 9 回と、約 12 年に 1 回の割合で大地震が起こっています。したがって、21 世紀の残り 89 年の間に、7 回、死者 1000 人以上の大地震が起こる可能性があり、それを覚悟し、そのための準備をしておかれた方がよいかもしれません。

## ～～家族例会レポート～～

細田 浩之 (昭 58 政)

7 月 22 日 (金)、ホテルトラスティ神戸旧居留地 2 階ダイニング「マークプレイス」にて、家族例会が開催され、佐井会長以下、38 名の出席をいただきました。今回は、淡路三田会より、中村会長、石井幹事長お二人に、初めて参加いただきました。



司会進行は日向新幹事。4 月例会で「スマートフォンあれこれ」と題し、今話題のスマートフォンに乗り遅れないよう最新機種の活用方法等、お話いただきましたこと記憶に新しいことと思われま。初の司会ということで当初緊張気味でしたが、次第に自分のペースでの司会進行。流石は NTT ドコモ神戸支店長。

佐井会長の挨拶の後、アサヒビール神戸支社よりご協賛いただきましたスーパードライが注がれたグラスを持ち、五代顧問のご発声により「乾杯」いただきました。

アサヒビール株式会社・神戸支店城支店長より、「日頃より神戸慶應倶楽部の皆様には、いつもアサヒビール製品をご愛飲いただき、誠に有難うございます」とのメッセージ頂戴しており、これからも当神戸慶應倶楽部の会員の皆さん、アサヒビール社製品のご愛飲を引き続きお願いしたいと思います。



そして、今回、淡路三田会よりビジターとして

初参加されました中村会長、石井幹事長の紹介後、お二人よりご挨拶をいただきました。今後より一層、淡路三田会との絆が深まることが確信されました。

自他とも認めるグルメ河野幹事長の選択によりオープンエアーのテラスがあるお洒落な空間の中、美味しく冷えたアサヒスーパードライと共に、特製ビュフェ料理を堪能しながら、今回例会に初参加の会員に自己紹介をいただきました。

その後、お待ちかね、神戸慶應倶楽部名物！浦上ご夫妻による「オークション」の時間がやってきました。ご存知の通り、昨年サマーパーティーより導入されたオークション・システムにより、目玉商品以外については、テーブルの上に展示された商品に各自入札額を記入、最高金額を入札された方が落札者となります。目玉商品については、浦上ご夫妻により、楽しく進行され、五代顧問からご提供いただきました豪華商品のオークションは、大変盛り上がりを見せました。尚、今回のオークションでの売上は、107,500 円となりました。ご協力いただきました会員の皆様には、厚く御礼申し上げます。

最後に、阪本副会長に、閉会挨拶いただき、松尾副幹事長の指導の下、若き血を全員で大合唱。7 月の家族例会は、大盛況のまま、終了しました。





## ～～関西合同三田会に向けて～～

ご存じの通り、今年の関西合同三田会は約10年ぶりに神戸が開催の地となります。日程は10月23日(金)。「ようこそ神戸へ 私たちがご一緒します」をメインテーマに主旨を凝らした内容の式典、並びに懇親会を企画しております。それらの全容が明らかになりつつありますので、今回は皆さんにその内容を少しご紹介させていただきます。

### 《 式 典 》

清家塾長にご来神頂き、基調講演をしていただきます。その後、塾長には引き続きご参加いただき、井戸兵庫県知事・関西広域連合会長、ならびに国連開発計画親善大使をお勤めでいらっしゃる、紺野美沙子さんをお迎え、「神戸より震災を考える」と題したパネルディスカッションを行います。

### 《 懇 親 会 》

懇親会のメインイベントは何と言っても、佐渡裕 兵庫県立芸術文化センター芸術監督率いる、「スーパーキッズオーケストラ」による演奏です。加藤完二さん指揮による素晴らしい音楽を、神戸が誇るポートピアホテルのお食事と共にお楽しみください。

また、神戸といえば名だたるスイーツがございます。当日は「神戸スイーツクルーズ」と題し、イグレック・菓子 s パトリー・セセッション・御影高杉・モンプリュ・ユーハイム等によって提供される、神戸ならではのスイーツの競演を是非ご堪能ください。

皆様が心地よいひと時をお過ごしいただけるよう、当日の司会は神戸慶應倶楽部会員でもあり、アナウンサー・ラジオパーソナリティーも務める子守康範会員と神戸出身のタレント・モデルのRENAさんがサポートさせていただきます。

関西合同三田会実行委員会では、皆様のご登録をお待ちしております。

普段の例会・家族会のご参加が難しい方も、この機会に是非お越しください。

登録は特設口座への入金をもって完了致します。神戸慶應倶楽部会員皆様のご登録をお待ちしております。

振込先銀行：三井住友銀行神戸営業部 普通預金  
口座番号：9512094

口座名義：関西合同三田会 会計 郷田誠紀  
(ゴウダセイキ)

参加費用：10,000円(小学生以下は無料)

なお、実行委員会では関西合同三田会神戸開催を記念して、「慶應義塾ロゴマーク入りオリジナルポーチ」を製作しております。森本会員のご協力により、廣野ゴルフ倶楽部でも販売されているポーチに義塾のロゴを刺繍で入れております。



限定200個を製作して1つ¥2,000で販売致します。ご希望の方は事務局までご連絡ください。



## 会員だより

### 《 自転車の旅 》

渡邊 留美 (平10環)

今年は短い梅雨の後、急に真夏の暑さとなり、8月に入ってからは連日の猛暑が続いております。BRB9月号が発行される頃には少し秋めいた風も感じられるようになっておりますでしょうか。全国的に節電モードとなり、冷房も控えめに、扇風機やうちわなどが久しぶりに大活躍の今夏かと思っております。

さて、学生の頃は持て余すほどの長い夏休みを満喫しておりましたが、当時はそれが当たり前と思って過ごしておりました。今となっては、その貴重さにも気づかず過ごすことこそが何と贅沢なことだったのかと思うばかりです。しかし、時間の余裕も体力も学生時代には及ばない今だからこそ、何となく合宿もどきの遊びをしてみたくなるというのが人の心理というものでしょうか。

一昨年夏から会社の同僚と自転車ツアーに出かけております。きっかけは、ツール・ド・フラ

ンス好きの同僚 A (女性) からの誘いです。私の仕事は、プロジェクト単位で客先付近のマンションに数ヶ月滞在する形式が多く、週末を利用し気晴らしとして滞在先で様々な遊びが企画されるのです。当時は、その同僚 A が愛媛のプロジェクトに参画しており、「しまなみツアー」が実行されました。参加者は男女合わせて総勢 10 人。岡山でレンタサイクルをし、1泊2日で今治まで自転車で渡るといふものです。瀬戸の海に浮かぶ島影をのんびり眺めながら、島々を繋ぐ橋を必死に登り、風を切って坂を下るといふのは、なかなかハードですが非常に楽しいものでした。美味しい海の幸を満喫できるというのもこのツアーの楽しみの一つで、オコゼをたらふく頂いて、遊び疲れた子供のように眠る。どう見ても大学生には見えない私たちの姿は、土地の方々にもさぞ奇妙に映ったことでしょう。しかしながら、天候には恵まれずに 1 日目の夕方から雨が降り、2 日目は自転車を諦め、私を含めバスで今治に移動したメンバーもいました。

そこで昨年は「裏しまなみツアー」と称し、今治からスタート。小さな島々を巡って大三島に宿泊。再び今治へ戻るツアーが開催されました。参加者はさらに増えて 14 人。途中、小さな島から船で渡る予定が、何と船に載せられる自転車が 5 台と言われ足止めされるなどのハプニングもありながら（下調べをしていますが、現場に行ってみないと分からないことはつきものですね）、またしても瀬戸の海の幸を満喫し、ようやく岡山ー今治間を自転車で制覇することができたわけです。

そして今年は残暑も少し落ち着くことを期待して、9月に「丹後半島ツアー」が開催されます。市の条例で、日をまたがったレンタサイクルが許可されないなど企画段階からハプニング続きですが・・・どのようなツアーになりますでしょうか（笑）

オフィスで一日中机に向かっておりますと、澄み渡った夏の青い空も、陽射しの強さも、木陰を涼やかに渡る風も、ともすると気づかないままに日々が過ぎてしまいます。最近では温暖化の影響か、穏やかな四季の変化が失われ、急激な天候の変化に戸惑うことが増えたように思われますが、たまには汗をかき、心地よい疲れを体感じて、心と体のバランスを取り戻すような遊びを楽しんでいきたいものですね。

## 《新入会のご挨拶》

頭師 暢秀 (平 5 商)

平成 5 年に商学部を卒業いたしました頭師暢秀(ずしのぶひで)と申します。このたび、木村健副幹事長にお誘いいただき、入会させていただきました。

学部時代は、弁論部に所属していました。全日本学生弁論大会で優勝できたことは大きな出来事でした。ビジネスコンテストでの副賞のニュージーランド海外旅行をきっかけに、バイト代やその他の獲得賞金などを使って約 30 カ国を旅行しました。このような学部時代だったもので、株式会社島津製作所で科学機器の営業をしておりましたが、勉強不足を痛感いたしました。大学院へ進み、学部から引き続き佐野陽子先生のご指導のもと、人的資源管理論を学びました。ニューヨーク市立大学大学院でマーケティングを専攻し博士号を取得後、流通科学大学サービス産業学部にて教職に就いております。

最近の若者には、社会人基礎力（前に踏み出す力、考える力、チームで働く力）が不足しているという経済産業省の主張に共感し、社会連携活動を通じて学生の社会人基礎力育成に尽力しています。昨年の社会人基礎力育成グランプリで大賞を獲得しましたが、姫路慶應倶楽部会長の竹田佑一氏、同幹事の竹田典高氏のご協力の賜物です。同会員の谷口よしき相生市長のご協力を仰ぎ、まちづくりの研修にも参りました。これまでの活動は、西播磨地方を舞台としておりましたが、神戸での機会も頂戴できればと考えております。

「国づくりは人づくり」と申します。私は一介の教員に過ぎませんが、教育を通じて人づくりを、ひいては国づくりに貢献したいという気持ちだけは忘れないようにしたいと考えております。今後とも塾員の皆様からのご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 《新入会のご挨拶》

中井 透 (昭 63 経営修)

このたび、城口隆会員のご紹介により神戸慶應倶楽部に入会させて頂きました、経営管理研究科修了の中井透と申します。

芦屋市立岩園小学校、甲南中・高を経て、1982年に甲南大学理学部を卒業しました。民間金融機関で 4 年弱の勤務の後、慶應義塾社中の一員になった次第です。

大学院修了後の 3 年間は東京に住み、中小企業診断士としてコンサルティング活動に従事する傍ら、短期大学で研究を続けておりました。1991年に岡山の地で専任教員の職を得て、家内と二人で移り住みました。岡山は二人にとってまったく未知の土地だったのですが、移住直後に入会した岡山県三田会の年次総会で城口さんと出会い、同年代に限らず実に多くの塾員の方々を紹介していただきました。その後は家族ぐるみで三田会のイベントに参加していただきましたので、16 年間の岡山での

思い出は三田会とともにあると言っても過言ではありません。仕事においても塾員の繋がりから、岡山経済同友会や岡山商工会議所などで各種委員会のアドバイザーを仰せつかったり、社外取締役や経営顧問といった形でコンサルティング活動を行う機会を与えていただきました。

岡山での生活は非常に充実していたのですが、いつかは地元に戻って仕事がしたいとの希望は持ち続けておりました。2007年、京都産業大学経営学部で働く機会を得たのを契機に、家族で阪神間に移って参りました。移住後暫くは博士論文の執筆に追われブルーな毎日を送っておりましたので神戸慶應倶楽部への入会が遅くなった次第です。3月の例会で自己紹介させていただきましたが、その後も既に何度か出席させていただいております。今後ともよろしくお願ひします。

### 《新入会のご挨拶》

天竹 清裕 (平 15 経)

はじめまして、この度神戸慶應倶楽部へ入会させていただきました。平成 15 年経済学部卒の天竹清裕と申します。

神戸生まれの神戸育ちです。中学・高校は高砂の白陵で厳しいながらも楽しい学生生活を送りました。大学では厳しかった高校時代の反動から、自由を満喫しすぎてしまいました。在学中、建築の勉強のため夜間の専門学校にも通いました。

卒業後は、ゼネコンの奥村組に入社し 6 年間務めました。2009 年に実家の工務店を手伝うため退職しました。

どんな業種でもそうだと思いますが、経験に勝るものはありません。建築は特に経験がものを言う世界だと日々思います。古い住宅の改修などは、見たことのない工法や材料が使われていたり、それらをひとつひとつ覚えていくしかありません。毎日、社長(父)に怒られながら勉強しております。最近では、耐震改修工事にも力を入れており、1軒でも多く安心して住める住まいを提供できるよう心がけております。

趣味はゴルフとサッカーで、最近フットサルのチームを作り、大会に出たり仲間と楽しくやっております。目標は 40 歳になってもピッチに立つことです。ゴルフは 100 を切ったり切らなかったり、なかなかうまくなりません。

神戸慶應倶楽部に入会して、周りがすごい先輩ばかりで毎回緊張しております。少しでも皆さんとお近づきになれるよう、よろしくお願ひします。



## 同好会だより

### イーゼル会

#### 《今月の絵》



天木 明 (昭 40 商)

#### 《イーゼル会第 4 回グループ展のご案内》

イーゼル会では、第 4 回のグループ展を下記の通り開催させていただきます。

並べられた作品が、名作なのかはた又迷作なのかは、ご覧頂く皆様のお気持ち次第かと思いますが、いずれにしても労作である事は間違いありませんので、おついでがあればお立ち寄り頂ければ幸甚です。まあおついでがなくても「寄ってえな」と云ったあたりが本音ではありますが・・・。皆様のおいでをお待ちしております。

期間：9月29日(木)～10月4日(火)

AM11:00～PM 6:00

(最終日はPM 4:00まで)

場所：ギャラリーほりかわ

(三宮センター街の一本南の通りをトアロードから少し東に入った南側です。)

TEL 078-332-4877

イーゼル会世話人 天木 明

### 読書会

#### 《神戸慶應倶楽部読書会 第 17 回》

第 17 回目の学問のすすめ読書会が 7 月 21 日(木)に阪本豊起副会長の事務所で行われました。参加



者は、浅沼、藤井、六拝、福野、阪本、野田、池田、古淵の9名でした。リーダーの堀切さんは今回も大事をとって欠席されましたが、次回から出席されます。

その堀切さんの代理で慶應リバーサイドキャンパスで夕学問五十講のうちの1講座を聴講した六拝会員から「見えないものを見る~東洋思想から読み解く日本文化と日本人~」と題した東洋思想研究家の田口佳史氏の講演の内容が詳細なメモに基づいて紹介されました。貧しいが清々しさに溢れている日本人を形成した背景になる思想・哲学を日本の地理的特性も踏まえて説明するもので(独断も感じられないではありませんが)興味ある内容でした。

この日は、熱い夏の盛りでもあり、東日本の大震災を契機に発生している政治的、経済的な問題についての疑問も問うてみたいという気分にかけて、大いに議論が沸騰しましたが、学問のすすめの輪読のほうは残念ながら全く進みませんでした。二部でのお酒の消費量は日本酒4本(大澤弘一副会長製造の銘酒)ビール中缶10本でした。

今回は平成23年9月16日(金)18:30から。阪本副会長の事務所(建隆ビルⅡ3階)で、「学問のすすめ」第5編「明治7年1月1日の詞」から始めます。

2部の飲み会の割り勘代3,000円と「学問のすすめ」(岩波文庫)を持って気軽においでください。会場は神戸慶應倶楽部のある神港ビル(旧居留地8番)の西隣(東京海上)の更に西隣(6番)の全面ガラスの建隆ビルⅡの3階です。商船三井ビルの東隣です。18:30以降は正面玄関が閉まるので地下通用口からお入りください。但し、お酒とさかなの準備がありますので、前回の出席者以外の方は阪本まで事前にご連絡頂ければ幸いです。

読書会世話役 阪本豊起

## KKJC

KKJCでは、ジャズツアー、神戸ジャズストリート参加、鍋島先輩・リコちゃんライブなど企画しておりますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

ジャズ発祥の地 神戸で大いに楽しみましょう。

KKJC 世話人 大場 知之  
[tomoyuki.ohba@sand.ocn.ne.jp](mailto:tomoyuki.ohba@sand.ocn.ne.jp)  
携帯電話: 080-2445-5153

# 会員の輪

## 《社会人になって7年》

永島 政和 (平17経)

神戸慶應倶楽部に入会させていただいてから3年、社会人になってから7年が経ちました。振り返ってみますと月日の過ぎる早さを痛感しております。私ごとで恐縮ではありますが、少し思い出話をさせていただきますと、私は島根県の田舎に生まれ、中学卒であった父親からの教えは「将来やりたい事をやるために、大学を卒業しなさい。それも誰もが知っている大学を。」でした。

それにどれ程影響されていたのかは定かではありませんが、中学、高校時代はそれなりに勉強をし、念願の慶應義塾大学に入学出来たとき、恥ずかしながら「人生はこれで全てがうまくいく」と本気で思っておりました。それは両親の教えであったような気がしますし、受験生時代の自分自身への動機づけの結果であった気がします。

その達成感、解放感からでしょうか、あるいは性根でしょうか、入学してから卒業まで、これといった専門的な資格を取得する様なこともなく、大学には中途半端に通いながらアルバイト等をし、ふらふらとした怠惰な日々を送り続けてしまいました。日雇いで得た小銭で食をつなぎ、喫煙をし、飲酒を覚えて時間を浪費する安穩とした生活です。

しかしそれでも時はあつという間に過ぎ、就職活動の時期が訪れました。とくに特技もない私は当然のようにサラリーマンとしての道を選ぶことになるわけでありました。遅まきながらもここで始めて、就職活動の準備をする中で、この数年研鑽を続けてきた塾生と私とでは大きな差が出来ていたことに初めて気付きました。とてもではないが、東京(というよりも都会)で周囲の同級生と同じフィールドで競い合うことは出来ないことを自覚し、失われた年月を取り戻すには、生まれ故郷で飲み慣れた水で、再度一念発起するしかない、と結論を出したのであります。

結果、通称Uターンで地元島根の地方銀行に就職をする(経済学部であればそれなりに何とかなるだろうという思惑もあり)訳ですが、道は思ったよりも険しく、未だに彼らとの差を埋められたとは到底思えない中、日々過ごしています。これといって大学で得た知識は無く(というよりも得る努力をしなただけの身から出た錆ですが)、そのわりに自尊心は人並み以上。一方で周囲に同門の先輩がいる訳でもなく、ただ普通の若い社員として猪突猛進をすることを余儀なくされたのが

社会人1年目の現実でした。

初任店は地元山陰でしたが、その後現在の神戸に赴任することになり、結果として金融業界では競争の激しいと言われる地へ足を踏み入れることとなります。田舎ものが学生以来、再び市街地へ出ることは何かと思うところも多かったのですが、幸いにも神戸では神戸慶應倶楽部の皆様をはじめ、多くの同門の先輩方と交流をさせて頂き、身に余る充実した生活をおくることが出来たことは、僣越ながら初めて慶應義塾大学を卒業して良かったと思えた瞬間でもありました。

前述の通り神戸では3年が過ぎ、転勤族である以上は次いつどこに動くか定かではない現状ではあります。しかしこの地での様々な経験は必ずや今後の糧になるものと痛感しておりますし、またそれを活かすことで幾ばくかの親孝行、もしくは同級生にも見劣りしない一人前の社会人に近づけたらと思ひ、精進に努める今日この頃であります。

普段、会の行事に出席できない方、遠隔地の方も誌面に登場して参加してください。皆さんの投稿をお待ちしています。

B R B編集部 [kobekeio@dream.ocn.ne.jp](mailto:kobekeio@dream.ocn.ne.jp)

### ～～今後の行事予定～～

9月 2日(金)	9月例会	神港ビル1F
9月 9日(金)	慶早ゴルフコンパ	神戸 GC
9月 16日(金)	読書会	健隆ビルII 3F
9月 29日～	イゼル会展	ギャラリーほりかわ
10月 7日(金)	10月例会	ANAクラウンプラザ
10月 23日(日)	関西合同三田会	ポートピアホテル
12月 3日(土)	家族例会	未定

### ～事務局よりお願い～

◆例会等にご出席の会員様はお食事等の準備の都合がありますので、必ず事前に事務局までお申し込みをお願いします。なお、前々日からのキャンセルにつきましては例会費全額を頂きますのでご了承ください。

◆住所・電話番号・メールアドレスの変更がある場合は、必ず事務局にお知らせください。

詳細はその都度お知らせいたしますので、毎月のメールマガジンでご確認ください。

### ～～10月例会のお知らせ～～

日時：2011年10月7日(金) 15時半より受付

場所：ANAクラウンプラザホテル

演題：朗読座 そのほか

講師：紺野 美沙子 塾員(昭59文)

会費：2,000円(飲み物付・食事無し)

※例会終了後、18時よりANAクラウンプラザホテル内にて紺野美沙子氏を囲む食事会を予定しています(会費：12,000円)

### ～～家族例会のお知らせ～～

日時：2011年12月3日(土) 18時より受付

場所：未定

終了予定：21:00

会費：未定

関西合同三田会 in 神戸  
実行委員会からのお願い

関西合同三田会が10月23日日曜日に、約10年ぶりに神戸で開催されます。神戸慶應倶楽部では、昭和55年卒から若くは平成19年卒までの幹事団、総勢28名が本来業務を行う傍ら、本会が成功するよう日夜努力しております。

そこで神戸慶應倶楽部メンバーの皆様にもご協力をお願いさせていただきます。

我々実行委員会としましては、是非とも**会員の皆様の全員登録を達成したい**と考えております。

何卒ご協力・ご尽力賜りますようお願い致します。

◆登録は下記口座への入金をもって完了となります

振込先銀行：三井住友銀行神戸営業部 普通預金

口座番号：9512094

口座名義：関西合同三田会 会計 郷田誠紀(ゴウダセイキ)

参加費用：10,000円(小学生以下は無料)

## 編集後記

○今年の天候は比較的落ち着いているかな、というのが個人的な感想です。梅雨は早めに始まりましたが、長引くこともなく。夏も夏らしい暑さで、暑すぎず、寒すぎず。それもこれも、節電を気にエアコンの使用が控えめだから？日本全体での発熱活動が抑えられ、温暖化が抑制された？さて、皆さんは如何思われますか。(洋)

○皆様、健やかに過ごしてください。右に同じく、といきたいところではあります。やはり今年も日差しはきつく、交通機関は冷房を効かせ過ぎではないでしょうか。オフィスを出たり入ったりすることが多いのと、自身の冷え症も原因なのですが。それでも去年に比べればかなり過ごしやすいですね。八月半ばに、もう秋の虫の声を聞きました。

(沙)